◆ 循環器科

診療部長　庄野弘幸

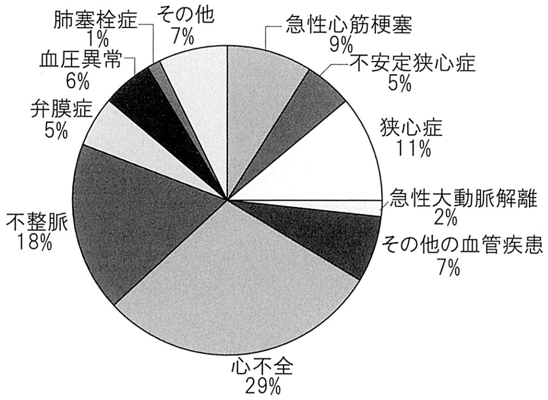
医師は庄野と済生会熊本病院から出向のレジデント１名の２名。主に外来を庄野が、病棟をレジデント医師が担当している。また、毎日循環器として待機体制をとって、救急患者、入院症例の急変に対応している。これは熊本病院からのレジデント派遣がなければできないことである。

2004年度は、循環器関連疾患230例をはじめ、呼吸器疾患なども含めて計345例であった。

主な疾患の症例数は、急性心筋梗塞21例、不安定狭心症12例、狭心症26例、心不全70例、不整脈42例、弁膜症12例、血圧異常13例、急性大動脈解離４例、その他の血管疾患16例、肺塞栓症３例などであった。

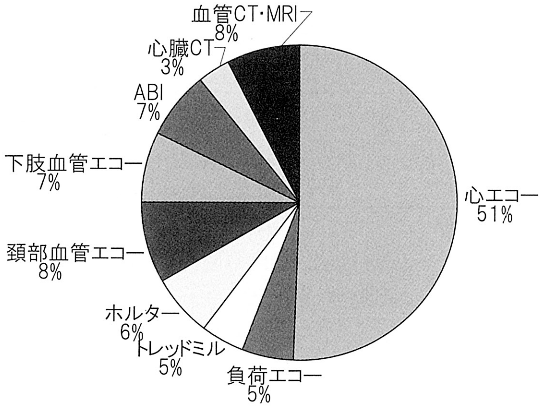
疾患症例割合

急性心筋梗塞	21
不安定狭心症	12
狭心症	26
急性大動脈解離	4
その他の血管疾患	16
心不全	70
不整脈	42
弁膜症	12
血圧異常	13
肺塞栓症	3
その他	17



検　査　内　訳

心エコー	2,003
負荷エコー	206
トレッドミル	180
ホルター	249
頚部血管エコー	327
下肢血管エコー	295
ABI	272
心臓 CT	125
血管 CT・MRI	302



済生会熊本病院へはカテーテル検査・治療、心臓手術などの症例を紹介している。紹介患者数は延べ159例であった。内訳は、心臓手術19例、急性心筋梗塞17例、急性大動脈解離３例、カテーテル治療23例、検査カテーテル51例、ペースメーカー９例、アブレーション３例などであった。